

○●株式会社様

知財ビジネス評価書  
(サンプル)

2017年XX月

# <目次>

1. 本評価書の目的
2. 評価対象企業様の概要
3. インタビューに基づく情報の記載
4. インターネット等の情報に基づく市場分析
5. 保有する特許権・商標権等の分析
6. 知的財産活動に関する評価と提案
7. 総括<事業戦略の分析>
8. 保有する特許・商標等の経済的価値の算出

# 1. 本評価書の目的

## インタビューを通じて評価の目的・方向性を決めます

- 当所は、調査対象企業様の事業拡大に向けた事業戦略のヒントとなり得るビジネス評価書の作成を目指します。中小企業様においては、経営理念、事業規模、組織体制、保有する特許権・商標権の件数等、おかれている状況が千差万別なので、画一的な評価書を作成するよりも個々の状況に応じた評価書の作成をすべきと考えるからです。
- そこで、まず、調査対象企業様とのインタビューを通じて評価の目的・方向性について協議し、それを決定した上で評価書を作成します。

## 2. 評価対象企業様の概要

### <企業概要>

会社名： ○○○○株式会社  
本社住所： 埼玉県・・・・・・・・・・  
設立： 昭和○○年  
資本金： ・・・・・・・・千円  
代表者： 代表取締役 ○○○○  
主要拠点： 埼玉県・・・・・・・・・・  
海外拠点： 米国・○○、中国・広州  
業種： ○○の製造販売

### <技術・製品の概要>

・  
・

### <対象事業・技術の市場動向>

・  
・

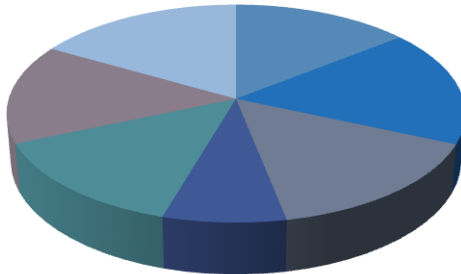
### 3. インタビューに基づく情報の記載

#### < 主要項目 >

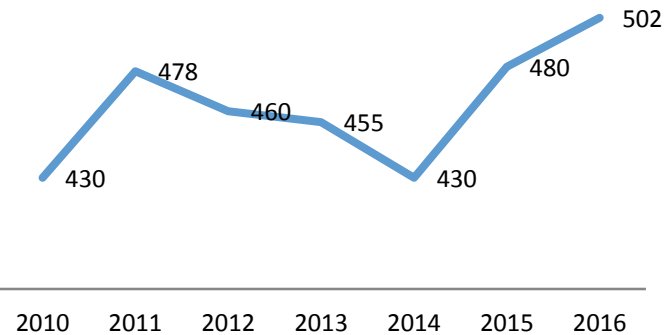
- 経営理念
- ビジネスモデル
- 事業の特徴（強みと弱み）
- 業績の推移（財務諸表等）
- 事業計画の概要
- 知的財産戦略（ブランド戦略を含む）

## 4. インターネット等の情報に基づく市場分析

- 市場規模

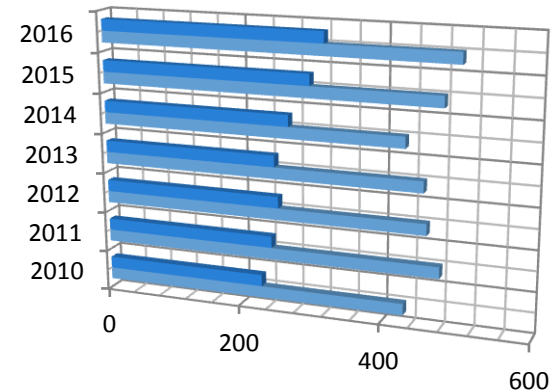


- 市場成長率



- 注目される製品・技術

- パテントマップ



## 5. 保有する特許権・商標権等の分析

### (1) 保有する特許権の一覧

	特許番号	出願日	登録日	発明の名称	発明者	備考
1						
2						
3						
4						

### <出願中の案件>

	出願番号	出願日	経過	発明の名称	発明者	備考
1						
2						
3						
4						

## 5. 保有する特許権・商標権等の分析

### (2) 各特許権に対する個別評価

- ・ 法的評価

- ・ 定性評価（指数評価）

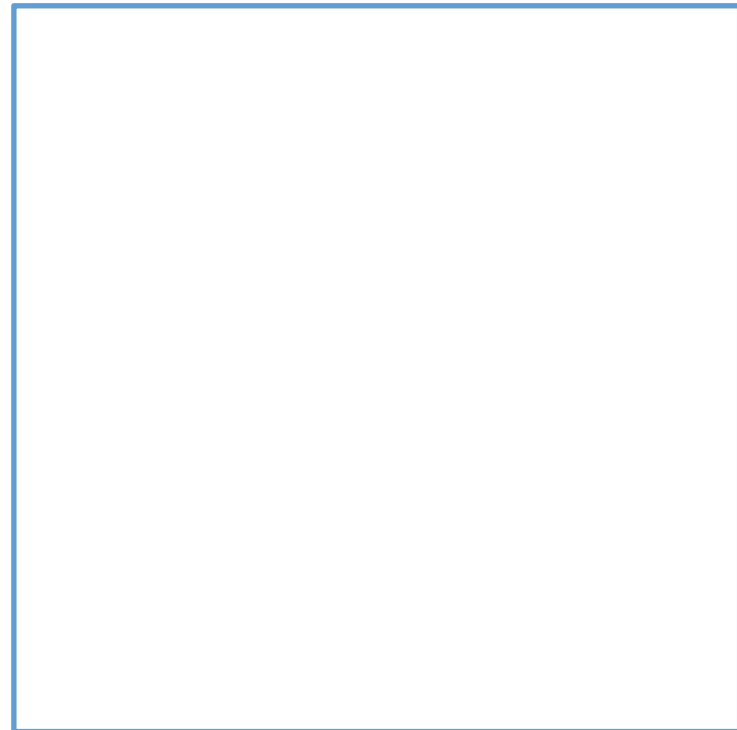
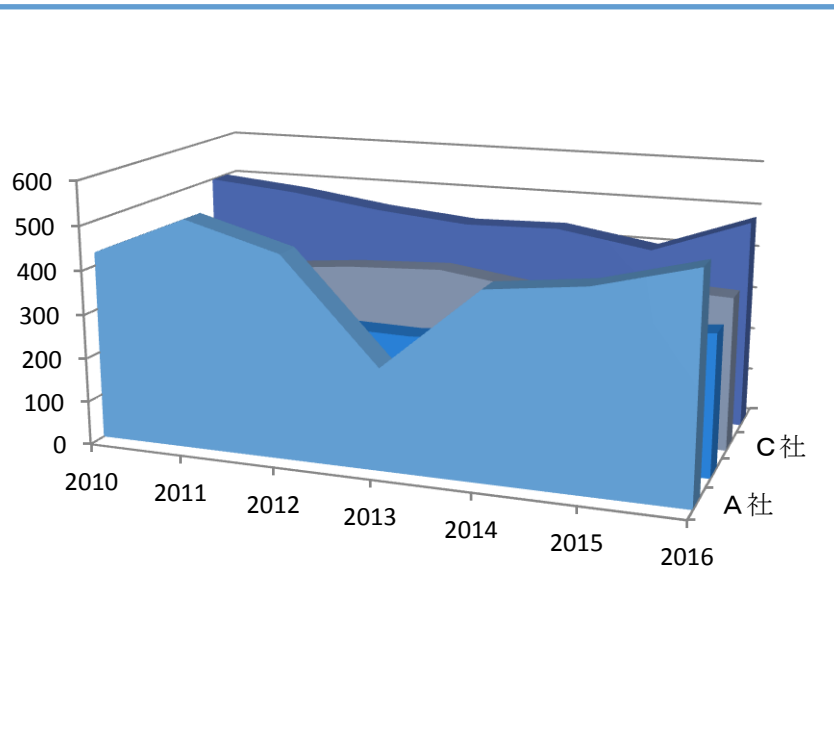
- ・ 実際の事業（ビジネスモデル）との関連性評価



# 5. 保有する特許権・商標権等の分析

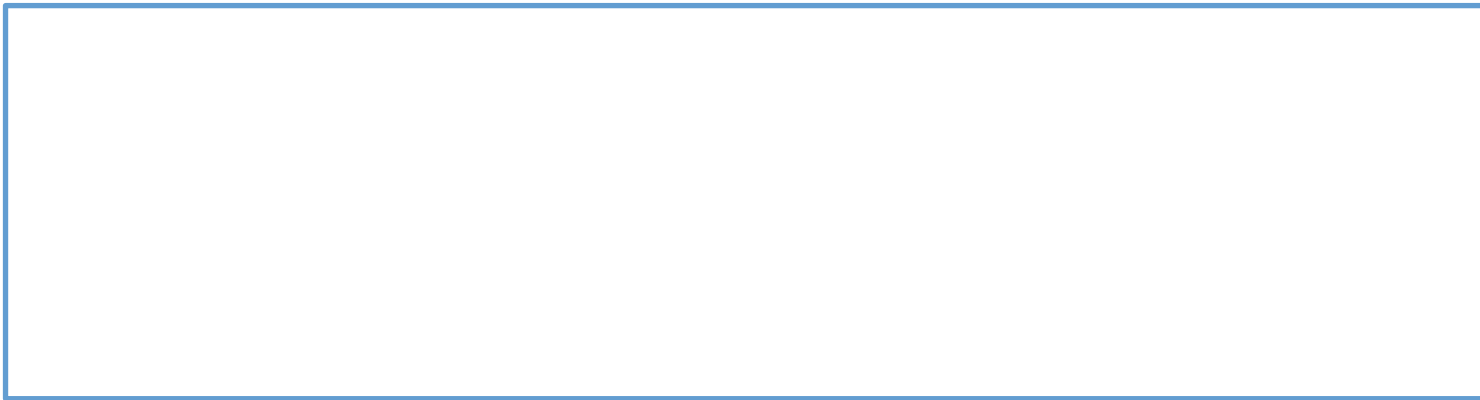
## (3) 保有する特許ポートフォリオの分析

- 特許マップの作成  
(特許分類等を用いた調査結果)
- ビジネスモデルとの技術的な対比

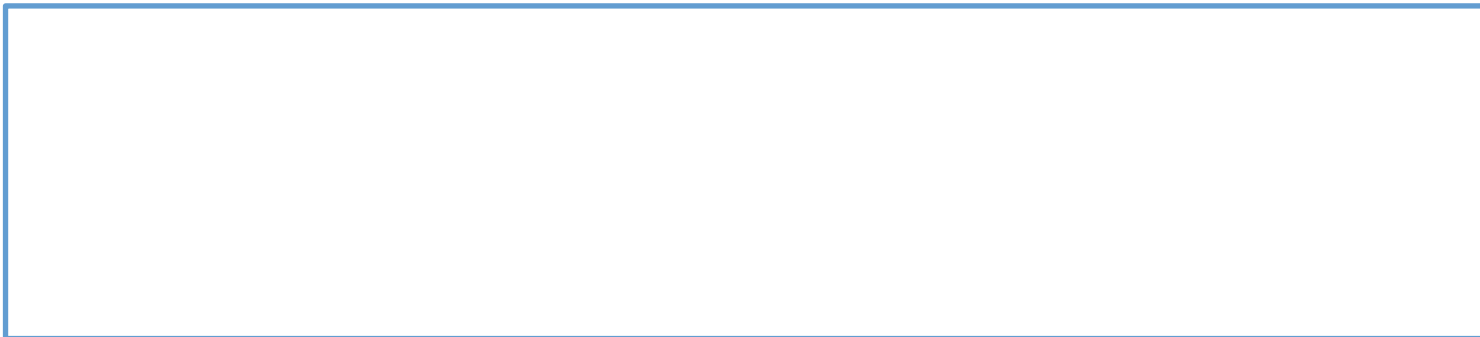


## 5. 保有する特許権・商標権等の分析

(4) 業界全体における特許のポジション分析



(5) 特許における同業他社（競合先）との比較



## 5. 保有する特許権・商標権等の分析

### (6) 保有する登録商標の一覧

	登録商標	種別	区分	登録番号	次回更新日	備考
1						
2						
3						
4						

### <出願中の案件>

	出願商標	種別	区分	出願番号	出願日	備考
1						
2						
3						
4						

## 5. 保有する特許権・商標権等の分析

### (7) 各商標権に対する個別評価

- 法的評価

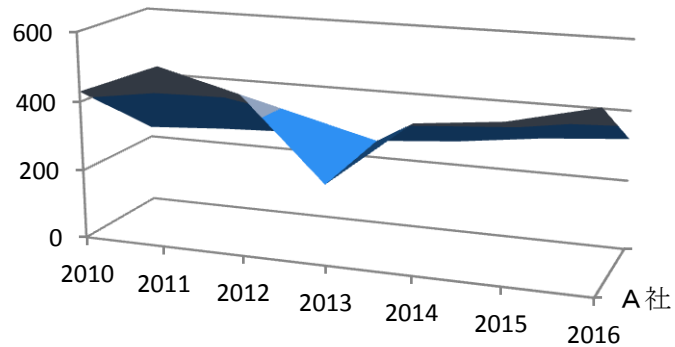
- 定性評価（指数評価）

- 実際の使用状況の評価

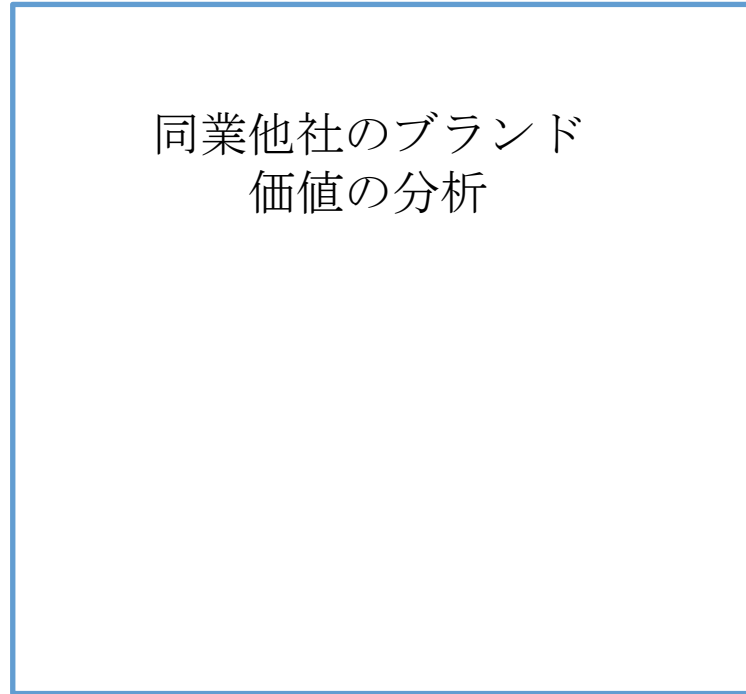
## 5. 保有する特許権・商標権等の分析

### (8) 登録商標等に基づくブランド価値の評価

対象企業様のブランド  
価値の形成状況



同業他社のブランド  
価値の分析



## 6. 知的財産活動に関する評価と提案

### 1) 特許戦略

- 
- 
- 
- 

### 2) 商標（ブランド）戦略

- 
- 
- 
-

# 7. 総括

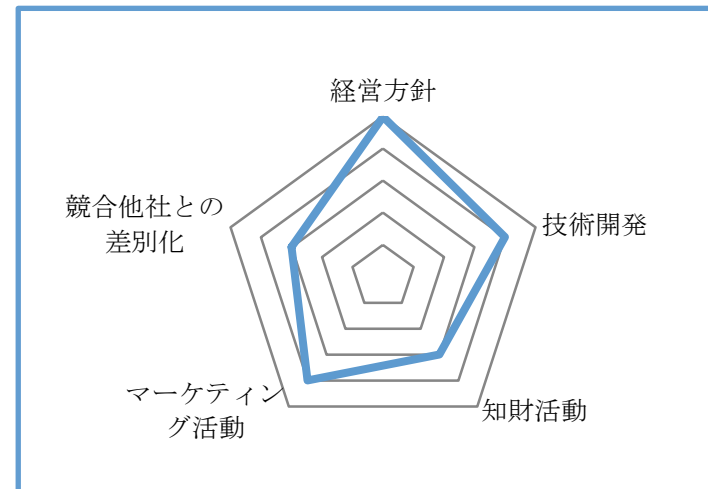
＜知的財産権の評価分析に基づく事業戦略の分析＞

＜例＞

- SWOT分析・レーダーチャート等の手法を用いた経営分析
- 対象企業の強みや課題等を明らかにして、今後のビジネス拡大の方向性を示唆する。

SWOT分析

Strength 強み	Weakness 弱み
Opportunity 機会	Threat 脅威



## 8. 保有する特許・商標等の経済的価値の算出 (希望される場合)

- 当該業務から得られる予想収益に基づき算出する「インカムアプローチ」をベースに「ロイヤルティ免除法等」を検討する。
- しかしながら、上記の算出はある前提条件に基づく算出であって、特許・商標等が実際に売買されるべき金額を保証するものではない。また、事業環境の変化等、前提条件が変われば経済的価値も大きく変わり得ることをご理解されたい。